

# 風土記の丘の花だより<sup>150</sup>

今、そしてこれから見られる植物(2022年9月3日)



猛暑はまだ続くのでしょうか。気がつけば9月、少しずつ秋に近づいている気配を感じる今日この頃です。ガガイモの花がきれいに咲いています。これは天王塚に向かう新しくできた道沿いで撮影しましたが、気を付けていれば、色々なところで見つかると思います。ガガイモは、名前こそいかめしいですが、花はこんな感じでなかなか見応えがあります。葉にはつやがあって、葉脈がハッキリ見えるつる草です。



オレンジ色のベニバナボロギクが咲いています。もう綿毛をいっぱい飛ばしている株もあります。その綿毛が雨に濡れるとまるでぼろ布に見えるので、ボロギクというちょっと不名誉な名前が付けられています。この花にはモンシロモドキというチョウみtainなガが集まります。幼虫がこの葉を食べるからです。モンシロチョウかなと思ったら、じっくり観察してみてください。ちょっと感じがちがったら、おそらくモンシロモドキでしょう。万葉植物園にオレンジ色の大きな花、ノカンゾウが咲き始めました。よく似たヤブカンゾウより遅れて夏の終わりに咲きます。ヤブカンゾウは八重咲きですが、これは一重咲きなので、簡単に区別できます。昔は「忘れ草」と呼ばれ、いやな事や人を忘れさせてくれると言われていました。



左の写真でわかりにくいかもしれませんが。先が二股に分かれた細い草が見えますか？アメリカスズメノヒエというイネ科の外来植物です。これは前山A地区で撮影しましたが、日当たりの良いところに群生しています。イネ科の雑草はどれも地味ですが、よく観察すると、それぞれの違いがわかって興味深いですよ。

松下